

豪州バルガ炭鉱における新鉱区開発について

記者各位

当社(社長:杉森 務)は、豪州現地法人であるJX Nippon Oil & Energy (Australia) Pty Ltd(社長:小寺 壮)が出資するOakbridge Pty Ltd[※]を通じて権益を保有するバルガ炭鉱において、新鉱区の開発を進めることとしましたので、お知らせいたします。

バルガ炭鉱は、年間約1,100万トンの生産規模を誇る豪州でも有数の炭鉱で、電力会社や鉄鋼会社をはじめとする日本のお客様向けに、発電用および製鉄用の石炭を生産しています。また、同炭鉱は高い生産効率性および優れた品質管理体制のもと、安定的に石炭を供給しており、お客様から高い評価をいただいております。

こうした中、新鉱区の開発は、現鉱区が2017年に終掘を迎える見通しであることから、生産量の維持を図ることを目的とするものです。このたび、豪州当局の許認可を取得いたしましたので、地域社会との共生を図りながら、本年12月より新鉱区の開発に着手し、2016年より生産を開始する予定です。なお、2018年には本格生産に移行する予定です。

石炭は安定供給性や経済性に優れ、今後も需要が堅調に推移すると予想されています。当社は、「エネルギー・資源・素材における創造と革新を通じて、持続可能な経済・社会の発展に貢献する」とのグループ理念のもと、グループ成長戦略の一環として、引き続き石炭事業の一層の強化を図ってまいります。

※ 当社が15.2%の株式を保有する豪州の炭鉱会社。

記

1. バルガ炭鉱の概要

(1) 現地開発生産者 : Bulga Joint Venture(以下「BJV」)

参加企業	BJVの 権益保有比率	概要
Oakbridge Pty Ltd	87.5%	JX Nippon Oil & Energy (Australia) Pty Ltd 15.2%
		Glencore plc (注) 78.0%
		豊田通商株式会社 5.0%
		JFE商事株式会社 1.8%
Nippon Steel & Sumitomo Metal Australia Pty. Limited	12.5%	新日鐵住金株式会社 100%出資会社

(注) 大手資源会社。同炭鉱のオペレーター。

- (2) 所在地 : オーストラリア・ニューサウスウェールズ州
 (3) 総生産量 : 約1,100万トン/年
 (4) 販売先 : 日本の電力会社、鉄鋼会社、製紙・化学メーカー等
 (2013年度当社納入実績: 932万トン)
 (5) 開発投資総額 : 約7億400万豪ドル(約704億円) ※BJV合計金額

2. バルガ炭鉱の位置



以上